Form No. 3398-349 Rev A

TORO®

Count on it.

オペレーターズマニュアル

ブロア 600

モデル番号44536—シリアル番号 310000001 以上

製品の登録は www.Toro.com.
この文書は翻訳です。 (JA)

CE

3398-349 A

この製品は、関連するEU規制に適合しています 詳細については、DOC シート規格適合証明書をご覧ください。

⚠ 警告

カリフォルニア州
第65号決議による警告
米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされております。

はじめに

この機械は3ポイントヒッチによる牽引型の清掃作業用機械であり、専門業務に従事するプロのオペレータが運転操作することを前提として製造されています。この製品は、集約的で高度な管理を受けている公園、スポーツフィールドその他の芝生において、風でごみを吹き飛ばす方法によって清掃を行うことを主たる目的として製造されております。

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解し、他人に迷惑の掛からないまた適切な方法でご使用ください。この製品を適切かつ安全に使用するのはお客様の責任です。

弊社のウェブサイト www.Toro.com で製品やアクセサリ情報の閲覧、代理店についての情報閲覧、お買い上げ製品の登録などを行っていただくことができます。

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽に弊社代理店またはカスタマーサービスにおたずねください。お問い合わせの際には、必ず製品のモデル番号とシリアル番号をお知らせください。いまのうちに番号をメモしておきましょう。

モデル番号_____

シリアル番号 _____

この説明書では、危険についての注意を促すための警告記号図 1を使用しております。死亡事故を含む重大な人身事故を防止するための注意ですから必ずお守りください。



図 1

1. 危険警告記号

この他に2つの言葉で注意を促しています。**重要**「重要」は製品の構造などについての注意点を、**注**はその他の注意点を表しています。

目次

安全について 3
運転の前に 3
運転中に 3
保守 3
搬送する場合 3
安全ラベルと指示ラベル 4
組み立て 6
1 キャスタホイールを取り付ける 6
2 下リンクアームを接続する 6
3 上リンクを接続する 7
4 PTO シャフトの長さの調整 7
5 PTO シャフトを接続する 8
6 スウェイリンクを調整する 8
7 点ヒッチのリフトストップの調整 9
8 トラクタからブロアを切り離すには 9
9 ブロアをグリスアップする 9
製品の概要 10
仕様 10
アタッチメントとアクセサリ 10
運転操作 11
吹き出し口の向きを調整する 11
ヒント 11
保守 12
グリスアップ 12
ベルトの調整 12
保管 13
故障探究 14

© 2015—The Toro® Company

8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

連絡先 www.Toro.com.
Printed in the USA

禁無断転載

安全について

間違った使い方や整備不良は人身事故などの原因となります。⚠事故を防止するため、以下に示す安全上の注意や安全注意標識のついている遵守事項は必ずお守りください **注意**、**警告**、および**危険** の文字は、人身の安全に関わる注意事項を示しています。**これらの注意を怠ると死亡事故などの重大な人身事故が発生することがあります。**

運転の前に

- 本機をご使用になる前に必ずこの*オペレーターズマニュアル*をお読みになり内容をよく理解してください操作方法をしっかり身につけ、緊急時にすぐに停止できるようになってください。
- 子供に運転させないでください。大人であっても適切な訓練を受けていない人には運転させないでください。このマニュアルを読み、内容をきちんと理解した人のみが取り扱ってください。
- アルコールや薬物を摂取した状態で運転や操作を行うことは避けてください。
- 作業場所から人を十分に遠ざけてください。
- ガードなどの安全装置は必ず所定の場所に取り付けて使用してください。安全カバーや安全装置が破損したり、ステッカーの字がよめなくなったりした場合には、機械を使用する前に修理や交換を行ってください。また、常に機械全体の安全を心掛け、ボルト、ナット、ネジ類が十分に締まっているかを確認してください。
- サンダル履きでこの機械を操作することはやめてください。また、だぶついた衣類は機械にからみつく危険がありますから着用しないでください。作業には、必ず長ズボンと頑丈な靴を着用してください。安全メガネと安全靴の着用をおすすめします。地域によってはこれらの着用が義務付けられていますのでご注意ください。

運転中に

- • この製品は運転席に着席した状態でオペレータの耳の位置での音量が85 dB(A)を超える可能性があります。長時間にわたって使用される場合には、聴覚保護具を着用するようにしてください。
- 運転には十分な注意が必要です転倒や暴走事故を防止するために以下の点にご注意ください
  - 作業は日中または十分な照明のもとで行う。
  - ゆっくりとした走行速度で運転し、隠れた穴などの見えない障害に警戒を怠らない。
  - サンドトラップや、溝・小川など危険な場所の近くを通らない
  - 小さな旋回をするときや法面で旋回するときは、走行速度を十分に落とす。
  - 急停止や急発進をさける。
  - バックするときには、後方の安全に注意し、マシンの後部に人がいないことを十分に確認する。
  - 道路付近で作業するときや道路を横断するときは周囲の交通に注意する。常に道を譲る心掛けを。
- 機械が落雷を受けると最悪の場合死亡事故となります。稲光が見えたり雷が聞こえるような場合には機械を運転しないで安全な場所に避難してください。
- 清掃作業中は、排出口に人を近づけないでください。周囲の人間が排出口に近づかないように注意し、また排出口を人に向けないように注意してください。
- 斜面でエンストしたり、坂を登りきれなくなったりした時は、絶対にターンしないでください。必ずバックで、ゆっくりと、まっすぐに下がって下さい。
- 大丈夫だろう、は非常に危険人や動物が突然目の前に現れたらすぐに作業を停止しましょう注意が分散してしまい、地形の変化や障害物に気づかなかったり、ガードの取り付け位置が悪かったりすると、ものを跳ね飛ばし、負傷事故を起こす危険が高くなります。周囲に人がいなくなるまで作業を再開しないでください。
- 機械から離れる前に、必ずブロアを地面に降下させ、キーを抜き取ってください。

保守

- 整備・調整格納作業の前には、エンジンが不意に作動することのないよう、必ずキーを抜き取っておいてください。
- このマニュアルに記載されている以外の保守整備作業は行わないでください。大がかりな修理が必要になった時や補助が必要な時は、Toro 正規代理店にご相談ください。
- ボルト、ナット、ネジ類は十分に締めつけ、常に機械全体の安全を心掛けてください。ファンシャフトのベアリングの取り付けボルトやナットが所定のトルクで締め付けられているか、頻繁に点検してください。
- Toro製品をToro製品として維持し、いつも最高の性能を発揮できるよう、必ず Toro の純正部品をご使用ください。他社の部品やアクセサリは絶対にご使用にならないでください。必ずToroの商標を確かめてご購入ください。他社の部品やアクセサリを使用すると製品保証が適用されなくなる可能性があります。

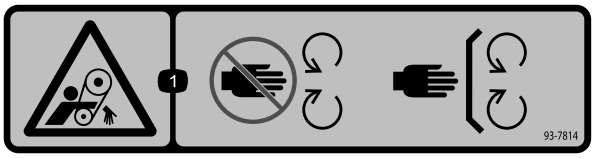
搬送する場合

- トレーラやトラックに芝刈り機を積み降ろすときには安全に十分注意してください。
- 荷台に載せたら、ストラップ、チェーン、ケーブル、ロープなどで機体を確実に固定してくだ

さい。機体の前後に取り付けた固定ロープは、どちらも、機体を外側に引っ張るように配置してください。

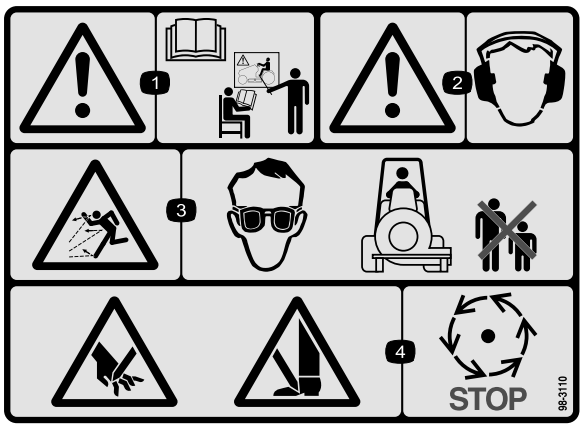
安全ラベルと指示ラベル

以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。読めなくなったものは必ず新しいものに貼り替えてください。



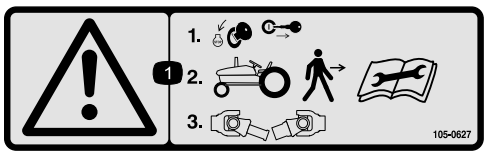
93-7814

1. ベルトに巻き込まれる危険 可動部に近づかないこと。すべてのガード類を正しく取り付けて使用すること。



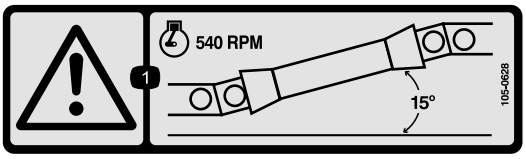
98-3110

1. 警告 *オペレーターズマニュアル*を読みトレーニングを受けること
2. 警告 聴覚保護具を着用のこと。
3. 飛来物による危険 オペレータは目の保護を行い、周囲の人を十分に遠ざけること。
4. 手足や指の切断の危険 可動部が完全に停止するのを待つこと



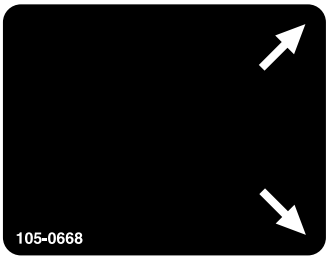
105-0627

1. 警告 車両を離れるときはエンジンを停止し、キーを抜き取り、PTOシャフトの接続を外すこと。

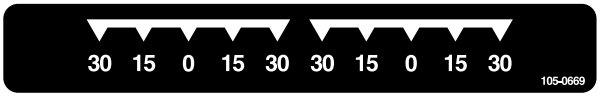


105-0628

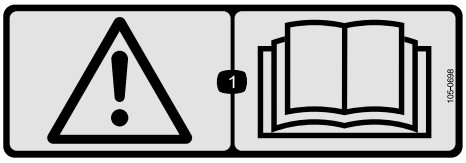
1. 警告傾斜が15度を超える斜面では本機のPTOを使用しないでください。



105-0668



105-0669



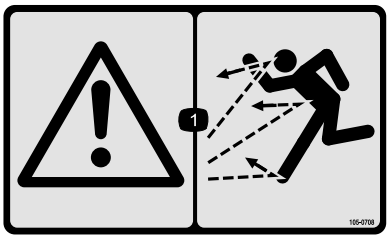
105-0698

CE 諸国で 105–0707 の上から貼り付けて使用する

1. 警告 *オペレーターズマニュアル*を読むこと。

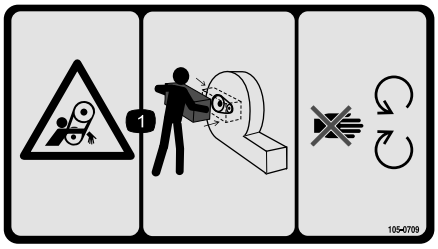


105-0707



105-0708

1. 警告異物が飛び出して人にあたる危険 人を近づけないこと。



105-0709

1. ベルトに巻き込まれる危険全部のガードを正しく取り付け、可動部に近づかないこと。

組み立て

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	–	キャスタホイールを取り付けます。
2	必要なパーツはありません。	–	下リンクアームを接続する
3	必要なパーツはありません。	–	上リンクを接続する
4	必要なパーツはありません。	–	PTO シャフトの長さを調整します。
5	必要なパーツはありません。	–	PTO シャフトを接続します。
6	必要なパーツはありません。	–	スウェイリンクを調整します。
7	必要なパーツはありません。	–	点ヒッチのリフトストップを調整します。
8	必要なパーツはありません。	–	トラクタからブロアを切り離します。
9	必要なパーツはありません。	–	ブロアをグリスアップします.

その他の付属品

内容	数量	用途
オペレーターズマニュアル	1	この機械を使用する前に、マニュアルをよく読んでください。
パーツカタログ	1	パーツ番号を調べるための資料です。
CE用デカル 105-0698	1	CE 諸国で 105–0707 の上から貼り付けて使用する.

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

1

キャスタホイールを取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

各キャスタフォークに、キャスタホイールアセンブリを取り付けるそれぞれワッシャ4枚、アクスル1本、コッターピン本を使用する図 2。

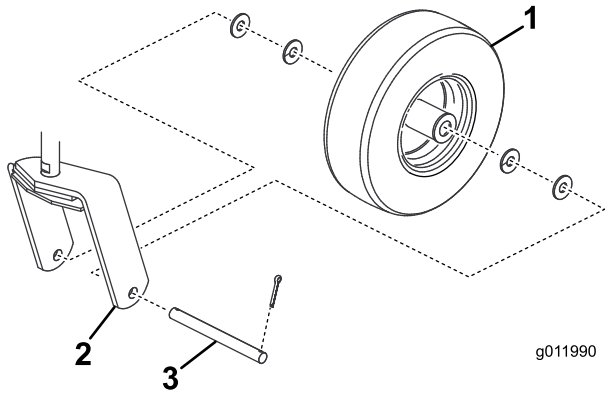


図 2

1. ホイールアセンブリ
2. キャスタフォーク
3. アクスル車軸

2

下リンクアームを接続する

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車し、PTOを解除する。
2. ブロアの直前までトラクタを後退で寄せ、下リンクアームをヒッチピンに整列させる。
3. 駐車ブレーキを掛け、エンジンを停止させ、始動うキーを抜き取る。

   注 エンジンと可動部すべての動きが停止するのを確認して運転席から降りる。
4. ヒッチピンに左右の下リンクアームを挿入する 図 3。

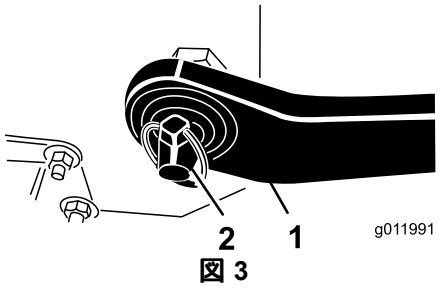


図 3

1. 下リンク
2. リンチピン

5. リンチピンで、下リンクアームをヒッチピンに固定する 図 3。

3

上リンクを接続する

必要なパーツはありません。

手順

1. 上リンクをブラケットの穴に接続し、クレビスピンとリンチピンで固定する図 4。

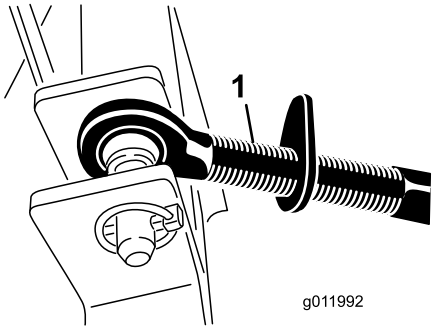


図 4

1. 上リンク
2. クレビスピン
3. リンチピン

2. 調整リンクを回してリンクを締める。

   注 締めすぎるとブロアの後部が浮き上がってしまうので注意する。
3. ロックナットを締めて上リンクを固定する。

4

PTO シャフトの長さの調整

必要なパーツはありません。

手順

重要 PTO や点ヒッチの位置はトラクタによって違います。どんなトラクタにも合わせられるよう、PTO シャフトは長めになっています。長すぎる場合には切断する必要があります。長いまま無理に使用すると損傷につながる場合があります。

1. ブロアを水平に置き、その状態のまま、入力軸の高さがトラクタの PTO シャフトとほぼ同じ高さになるようにブロアの高さを調整する。

   注 これが軸の最短距離となる。
2. トラクタの PTO シャフトのロック溝からブロアの入力軸のロック溝までの距離を測定する。

   注 測定値を記録する。
3. PTO シャフトが完全に縮んだ状態で、つのロックピンカラーの間の距離を測定する。

   注 測定値を記録する。
4. PTO シャフトが一番短くなった状態でも完全に縮んだ状態まで少なくとも 37mm の余裕が必要である図5。

   注 ステップ2で測定した長さが、ステップ3で求めた長さより 37mm 以上大きくない場合にはPTO シャフトが長すぎるので、以下の5を行う。PTO シャフトが縮むのに必要な余裕がある場合には、ステップ10に進む。

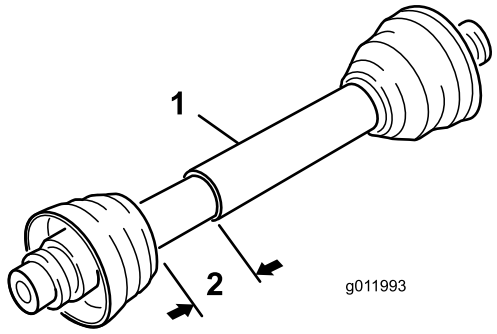


図 5

1. PTO シャフト　　2. 37mm

5. 37mm のすき間を作るためにどれだけ切り取る必要があるかを、以下の計算で求める
   A. 3で測定した長さを、2で測定した長さから差し引く。

      注 測定値を記録する。

   B. Aで求めた値を 37mm から差し引く。

      注 得られた長さだけ PTO シャフトを短くする。
6. 金ノコを使って、ガードとパイプスチール部から計算で求めた長さを切り取る。

   注 PTO シャフトの両方を同じだけ切り落とす。
7. 切り口のバリを落としてなめらかにする。
8. パイプ部を十分きれいにする。
9. スチール部に充分グリスを塗布する。
10. PTO シャフトを組み立て、ブロアとトラクタに取り付ける。
11. シャフトの長さを確認する。

    注 37mm 未満であれば、再調整する。
12. ブロアを一番高い位置まで上昇させる。

    注 この状態で、PTO のパイプの重なりが少なくとも 75mm あることを確認する。必要に応じて点ヒッチのリフトストップを調整する。7 点ヒッチのリフトストップの調整 (ページ 9)を参照。

5

PTO シャフトを接続する

必要なパーツはありません。

手順

1. PTO シャフトをブロアの入力軸に接続する。
2. PTO シャフトをトラクタの後部PTO シャフトに接続する。
3. PTOシャフトを前方一杯に伸ばす。
4. ピンを使ってPTO シャフトを固定する。PTO シャフトを前後にスライドさせて確実にロックされていることを確認する図 6。

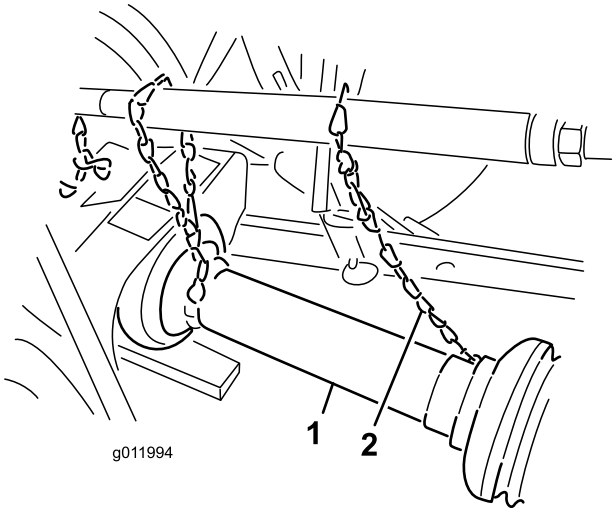


図 6

1. PTO シャフト　　2. 安全チェーン

5. シールド回り止め用の安全チェーンをパワーシャフト部からリンクアームに溶接されているクリップまたはPTO シールドに接続する図 6。

   注 ブロアを上下させてもチェーンに余裕があることを確認する。

⚠ 警告

カバーにチェーンを取り付けておかないと、運転中にカバーが回り、人身事故につながる恐れがある。

必ず全部の PTO カバーを所定の位置に正しく取り付け、回り止めチェーンをリンクアームまたは PTO カバーに接続しておくこと。

6

スウェイリンクを調整する

必要なパーツはありません。

手順

ブロアの左右のふれが各側で 25mm 以内となるように、点ヒッチの下ドラフトアームのスウェイリンクを調整します。

1. 下リンクを機械内側に向けて調整して、ブロアの取り付け板に接触させる図 7。

   注 これによりピンへの負荷を小さくすることができます。トラクタに付いているのがスウェイリンクではなくスウェイチェーンの場合は、下リンクアームとリンチピンの間にワッシャを挟んでリフトピンへのオーバーハング負荷を小さくしてください。

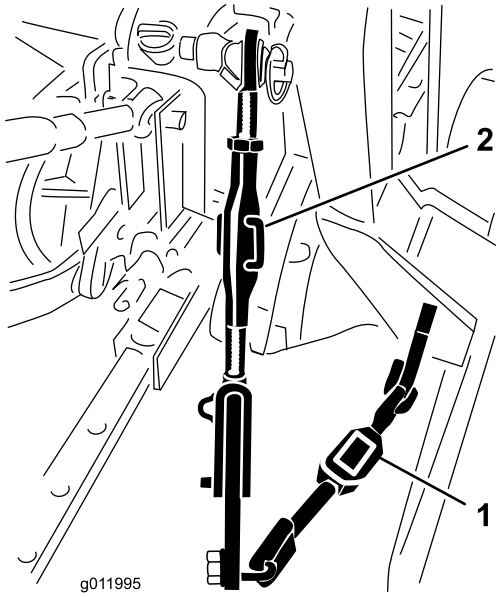


図 7

1. スウェイリンク　　2. リンクボディ

2. 調整リンクボディが付いている場合は、これでリンクアームの上下調整を行ってブロアを左右水平にする図 7。

注 取り付け、調整の詳細については、トラクタのマニュアルを参照してください。

7

点ヒッチのリフトストップの調整

必要なパーツはありません。

手順

点ヒッチのリフトストップを調整して、ブロアを上昇位置にした時に約 10cm の地上高が得られ、しかも PTO の角度がなるべく小さくなるようにします。移動走行時や積み込み積み下ろしなどの際には、PTO チューブが外れない限り、上昇レンジ一杯まで使ってかまいません図 8。

重要 ただし、一番上まで上昇させたままで PTO を作動させると PTO や他の部品を破損しますから注意してください。

注 調整の詳細については、トラクタのマニュアルを参照してください。

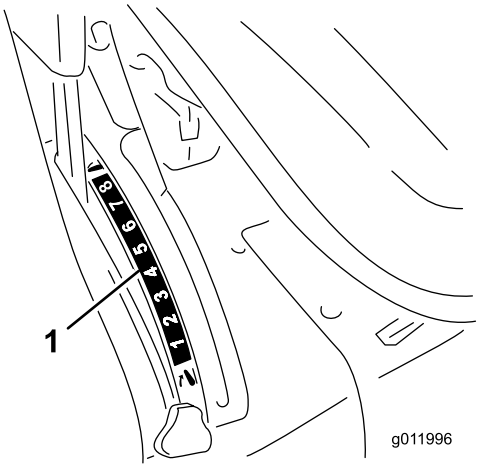


図 8

1. 点ヒッチのリフトストップ

8

トラクタからブロアを切り離すには

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車し、PTOを解除し、エンジンを停止させ、駐車ブレーキを掛けてキーを抜き取る。
2. トラクタの PTO からカバー回り止めチェーンを外し、

   注 チェーン端をブロア側の PTO シャフトに取り付ける離脱防止。
3. ブロアをゆっくりと降下させて、ローラとキャスタホイールを着地させる。
4. センタリンクをブラケットに固定しているリンチピンと上リンクピンを外す。
5. パワーシャフトをトラクタの PTO シャフトから外す。
6. パワーシャフトを後ろにずらしてトラクタから抜き取る。
7. ヒッチピンについているリンチピンを外し、下リンクアームを外す。

9

ブロアをグリスアップする

必要なパーツはありません。

手順

ブロアを使用する前に、必ずグリスを注入してください; グリスアップ (ページ 12)を参照してください。

重要 この作業を怠ると重要部品に急激な磨耗が発生しますから注意してください。

製品の概要

仕様

注 仕様および設計は予告なく変更される場合があります。

長さ	125cm49 インチ
幅	150 cm
高さ	117cm46 インチ
純重量	227kg

アタッチメントとアクセサリ

トロが認定した各種のアタッチメントやアクセサリがそろっており、マシンの機能をさらに広げることができます。 詳細は弊社の正規サービスディーラ、または代理店へお問い合わせください弊社のウェブサイト www.Toro.com でもすべての認定アタッチメントとアクセサリをご覧になることができます。

運転操作

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

吹き出し口の向きを調整する

調整ハンドルでエア吹き出し口の向きを横から前に変えることができます図 9。

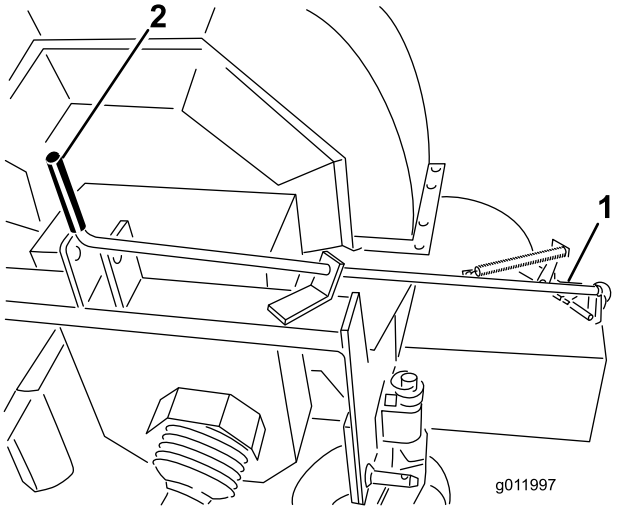


図 9

1. エア吹き出し口
2. コントロールハンドル

ヒント

⚠ 警告

排出口から噴出す風は非常に強く、まともに吹かれるとケガをする危険があります。

- **ブロア作動中は排出口に近づかないこと。**
- **ブロア作動中は、排出口の周囲に人を近づけないこと。**

1. トラクタを始動させ、低い回転数で運転する。
2. エンジンをアイドリングさせながら、PTO を接続する。
3. PTO 速度を540rpm に上げる。
4. ブロアの使い方を練習しましょう。

   注 風下側に飛ばしてやると、ゴミが吹き戻されずにうまくいきます。

保守

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

グリスアップ

定期的に、全部の潤滑個所にNo.2汎用リチウム系グリスを注入します。

ファンシャフトのベアリング

8運転時間ごとに前輪のベアリングにグリスを注入してください図 10。

注 後ろのグリスニップルから注入する時はベルトカバーを外して行います。

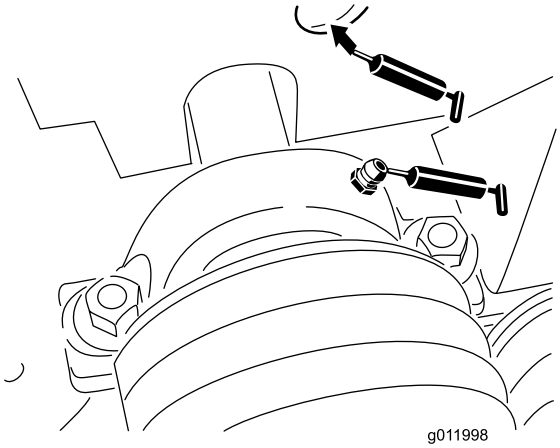


図 10

キャスタホイール

100運転時間ごとに駆動シャフトのつのフィッティングにグリスを注入してください図 11。

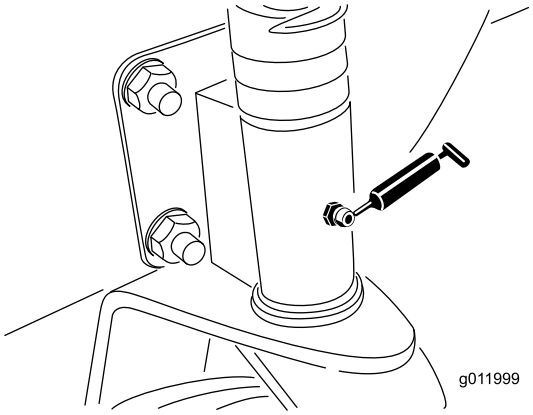


図 11

駆動シャフト

100運転時間ごとに駆動シャフトのつのフィッティングにグリスを注入してください図 12。

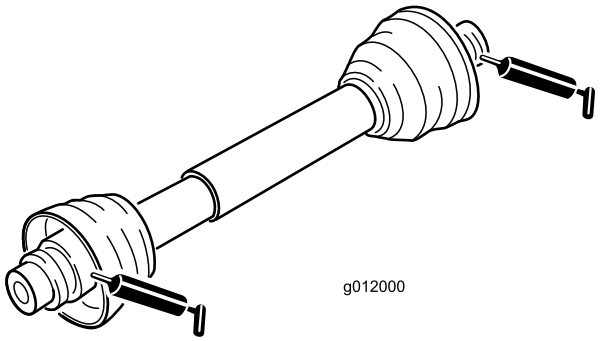


図 12

ベルトの調整

機械を正しく動作させ、無用の磨耗を防止するためにベルト類は正しく調整してください。また、頻繁に点検してください。

注 新しいベルトは**最初の20 運転時間**で点検調整します。

重要 カバーについているボルトナット類は、カバーを外しても、カバーから外れません。全部のボルト類を数回転ずつゆるめてカバーが外れかけた状態にし、それから、全部のボルト類を完全にゆるめてカバーを外すようにしてください。このようにすれば、誤ってリテーナからボルトを外してしまうことがありません。

1. ベルトガードをブロアハウジングに固定しているキャップスクリュ、ワッシャ、ナットを外して、ガードを取り外す図 13。

   注 ベルトを調整する時は、駆動シャフトを外す必要はありません。

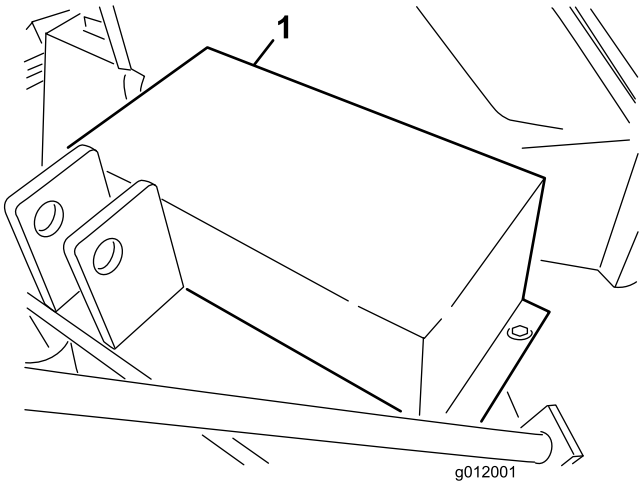


図 13

1. ベルトガード

2. ベルトガードを取り外す図 13。
3. テンショナガイドをブロアのフレームに固定しているキャップスクリュとナットを外す図 14。

   注 キャップスクリュを外すとベルトがゆるみます。

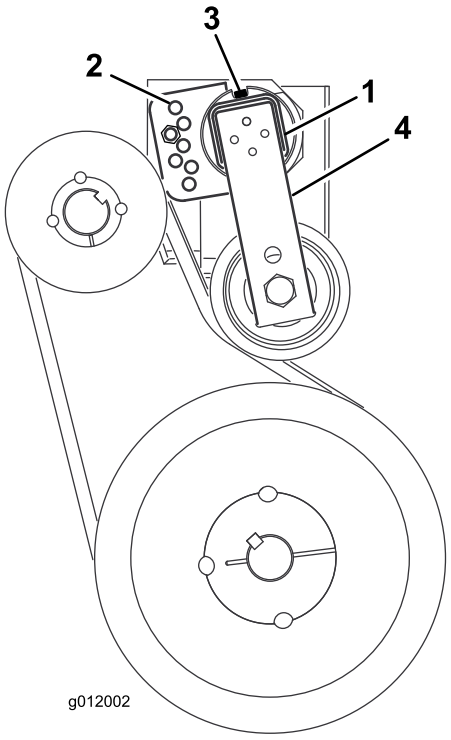


図 14

1. ベルトテンショナのチューブ
2. テンショナガイド
3. キャップスクリュ
4. アイドラアーム

4. フレームの裏側でベルトテンショナをフレームに固定しているキャップスクリュをゆるめる図 14。
5. 大きなレンチを使ってテンショナを右に回してデカルがテンショナチューブと 15° になるようにする。
6. その状態で揃っているガイドの穴にキャップスクリュを挿入し、ナットで固定する図 14。

   注 穴が正確に合わない場合は、ガイドを回して一段階高い穴に合わせ直す。
7. フレームのキャップスクリュを締め付けてテンショナをロックする。
8. ベルトガードをブロアハウジングに取り付けるキャップスクリュ、ワッシャ、ナットを使用。

保管

1. ブロアをきれいに掃除する。

   注 ファンハウジングの泥、葉、汚れをすべて取り除いてください。
2. 各グリス注入部のグリスアップを行います. 余分なグリスはふき取る。
3. PTO シャフトのスプラインにグリスを薄く塗布する。
4. 各ボルト類を締め付ける。

故障探究

問題	考えられる原因	対策
異常に振動する。	1. ファンシャフトのベアリングの損傷。 2. ファンが汚れている。 3. PTO シャフトの回転数が高すぎる。	1. ベアリングを交換する。 2. ハウジングの内側を清掃する。 3. PTO 速度を540rpmに落とす。
エアの出が悪い。	1. エアのスロットが詰まっている。 2. トラクタのエンジン回転数が低すぎる。 3. トラクタ側のエンジンのスロットル設定が低すぎる。	1. スロットを清掃する。 2. PTO 速度を 540rpm に上げる。 3. トラクタの速度が正常速度になるよう修理する。

メモ

Toro 一般業務用機器の品質保証

年間品質保証

保証条件および保証製品

Toro 社およびその関連会社であるToro ワランティー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2年間または1500運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証はエアレータを除くすべての製品に適用されますエアレータに関する保証については該当製品の保証書をご覧下さい。 この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。
*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われた場合には、「製品」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラー に対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
Toro Warranty Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196

952–888–8801 または 800–952–2740
E-mail: commercial.warrnty@toro.com

オーナーの責任

「製品」のオーナーは、*オペレーターズマニュアル*に記載された整備や調整を実行する責任があります。これらの保守を怠った場合には、保証が受けられないことがあります。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品を使用したことまたはToroの純正部品以外のアクサセリや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。これらの製品については、別途製品保証が適用される場合があります。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。*オペレーターズマニュアル* に記載されている弊社の推奨保守手順に従った適切な整備が行われていない場合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類。但しその部品に欠陥があった場合には保証の対象となります。通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキバッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびベアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、この他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェック・バルブなどが含まれます。
- 外的な要因によって生じた損害。外的な要因とは、天候、格納条件、汚染、弊社が認めていない燃料、冷却液や潤滑剤、添加剤、肥料、水、薬剤の使用などが含まれます。
- エンジンのための適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。
- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。
- 通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

ディープサイクルおよびリチウムイオン・バッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオン・バッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。本製品の保証期間中に、上記のような通常損耗によってオーナーの負担によるバッテリー交換の必要性がでてくることは十分に考えられます。
注リチウムイオンバッテリーについてリチウムイオンバッテリーには、その部品の性質上、使用開始後 3-5 年についてのみ保証が適用される部品があり、その保証は期間割保証補償額逓減方式となります。さらに詳しい情報については、*オペレーターズマニュアル* をご覧ください。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

エンジン関係の保証について

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。くわしくは、製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧下さい。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は輸入元にご相談ください。